



# 学園だより

令和6年度4月号  
統括校長 井内 潔  
令和6年4月10日

【教育目標】 人にやさしく 自分に強く 英知を磨く村山の子

<http://musashimurayama.ed.jp/mmced4s/>

## 新年度を迎えて ～村山学園が目指す児童・生徒像～

統括校長 井内 潔

桜花爛漫の言葉が実感できる春となりました。校庭のあちらこちらに、様々な花が咲いていて、その光景を見るとなんだか心がワクワクするような躍動を感じます。

お子様の御入学・御進級おめでとうございます。令和6年度は、1年生62名、7年生55名、7年生S組5名、7年生E組16名と転入生を迎えました。全校児童・生徒は571名（4月9日現在）です。今年度も教職員一同力を合わせて、地道な努力を続け、様々な教育活動にあたります。どうぞよろしくお願いたします。

さて、私は着任4年目になりますが、村山学園の「中学校卒業時の理想の生徒像」、言い換えると「目指す児童・生徒像」を探し続けてきました。本校開校に当たっては、「①生活を落ち着かせる。」「②学力を向上させる。」が大きな課題でした。現在の子供たちは、純朴、素朴に可愛く育っていると私は感じています。もちろん課題が何も無いわけではありません。「②学力を向上させる」については、課題が山積みで本校の最重要課題です。そこで、先生方と一緒に村山学園の子供たちの課題は何か、こうなって欲しいを「目指す児童・生徒像」として以下のようにまとめました。いろいろな場面で、ふれていきます。どうぞお知りおきください。

### 「村山学園が目指す児童・生徒像」

- (1)自ら学ぶことができ、基礎的・基本的な学力が身に付いている子
- (2)自分で考えることができる子
- (3)自分で判断することができる子

また、「学校経営の具体策」（一部省略）を今年も載せました。(3)「基礎的・基本的な学力の定着」は、(8)「ICTの活用」と合わせて、より具体的に進めます。自ら学ぶ家庭学習の取り組みでは、保護者の皆様の御協力が大切です。いろいろな場面で子供たちへのお声掛けや援助で、子供たちは大きく成長します。御支援・御協力をぜひよろしくお願い致します。

### 「教育目標」

人にやさしく、自分に強く、英知を磨く 村山の子

### 「学校経営の具体策」（令和6年度学校経営方針より一部転記）

- (1)人権尊重教育に基づき、児童・生徒のいじめ防止を図る。
- (2)生命を尊重する心を育む道德教育の推進を図る。
- (3)「**基礎的・基本的な学力の確実な定着と学力向上**」を最重要課題として取り組む。授業では問題演習を繰り返し実施して、特に小学校4年生までの算数、国語の基礎的・基本的な学力（読み・書き・計算）の定着を徹底する。ICTを積極的に活用して、課題解決に取り組む。朝読書の実施方法を見直し、1年生から9年生まで全体で年間計画を立てる。保護者と連携し、家庭学習の方法を見直す。学力定着を図るために、タブレットPCを使う家庭学習を全ての学年で行う。
- (4)心身の健康推進、体力向上を図る。
- (5)国際理解教育は、グローバル化に対応でき、国際社会で活躍できる人材としての素養を養う。日本語学級に通級する児童の日本語教育を推進する。
- (6)特別な支援が必要な児童・生徒に「個に応じた」特別支援教育を組織的に推進する。校内委員会を中心に組織全体で支援する。「知的障害固定学級」では授業改善を図る。「自閉症・情緒障害固定学級」では特に自立活動の指導に重点をおく。
- (7)安全・安心を基盤とした組織的な生活指導の推進と危機管理の徹底を図る。初期対応と報告・連絡・相談・確認を徹底し、課題は全教職員で共有する。
- (8)GIGAスクールによる**一人一台タブレットPCや各種ICT機器及びデジタル教科書の有効活用**を図る。タブレットPCを使って、児童・生徒一人一人の教育的ニーズに適した個別最適化された学びを行う。小学部1年生の段階から、ローマ字タイピングの練習を行い、タブレットPCの基本操作を習得する。SNSの正しい使い方を含む情報モラル教育のさらに推進する。
- (9)意図的・計画的なOJTにより若手教員の育成、組織の教育力向上を図る。
- (10)外部人材や地域資源を計画的に活用（まちづくり学習を含む）し、教育内容と活動の充実を図る。
- (11)働き方改革を実効性あるものとして進め、教職員の意識改革にも取り組む。